

コープきんき

発行/2016年8月5日・通巻61号
 生活協同組合連合会
 コープきんき事業連合
 〒532-0011
 大阪市淀川区西中島5丁目
 13番9号 新大阪MTビル1号館
 TEL06-6838-4556
 FAX06-6302-9533
 発行責任者/森 宏之
 発行事務局/理事会室
 URL: http://www.kinki.coop/
 e-mail: info@kinki.coop

コープきんき事業連合は、コープしが・京都生協・ならコープ・よどがわ市民生協・おおさかバルコープ・いずみ市民生協・わかやま市民生協の近畿7生協を会員とする生活協同組合連合会です。

第13回通常総会を開催しました



2016年6月15日(水)午後1時より、新大阪ワシントンホテルプラザにおいてコープきんき事業連合第13回通常総会を開催しました。

代議員58名(本人出席56名、委任出席1名、書面出席1名)、ご来賓18名、傍聴者28名、コープきんき役員を合わせて155名が出席しました。

ご来賓を代表して、大阪府 府民文化部 男女参画・府民協働課 課長 長澤研一様より、松井一郎大阪府知事からの祝辞が披露され、日本生活協同組合連合会 常務執行役員 尾辻雅昭様よりごあいさつをいただきました。

6つの議案について提案と討議を行い、採決の結果、すべての議案が賛成多数で可決・承認されました。

また、総会後の懇親会ではコープきんき虹の会 会長 日本水産株式会社 代表取締役 社長執行役員 細見典男様よりごあいさつをいただきました。



大阪府 府民文化部
男女参画・府民協働課 課長
長澤研一様



日本生活協同組合連合会
常務執行役員
尾辻雅昭様



コープきんき虹の会会長
日本水産株式会社
代表取締役 社長執行役員
細見典男様

採決結果

議案	反対	保留	賛成
第1号議案 2015年度事業報告、決算報告・剰余金処分案承認の件	0人	0人	多数
第2号議案 2016年度事業計画・収支予算決定の件	0人	0人	多数
第3号議案 役員報酬決定の件	0人	0人	多数
第4号議案 定款の一部改定の件	0人	0人	2/3以上の多数
第5号議案 規約の一部改定の件	0人	0人	多数
第6号議案 監事監査規則の一部改定の件	0人	0人	多数

CONTENTS

- 第13回通常総会を開催しました P1
- 第13回通常総会 代議員の発言要旨 P2~3
- 2015年度事業報告・2016年度事業計画(抜粋) P4~5
- 品質保証・商品検査報告 P6
- コープきんき虹の会第8回通常総会 P6
- 第1四半期事業報告 P7
- 2016年度業務執行体制と組織機構 P7
- コープきんきオリジナル開発新商品 P8



コープきんきオリジナル開発新商品

コープきんきではオリジナル商品(メーカーブランドでの留型)の開発をすすめています。

使用米粉が国産になって新登場。さらに丸大豆醤油・北海道産日高昆布だし使用。たれと粒あんを半分ずつかけました。



あわしま堂
よくばり団子
(国産米粉使用) 通常価格
3本 本体 128円
(税込138円)

滋賀県でくみ上げた口あたりなめらかな水。手頃な価格にこだわりました。硬度43mg/l(軟水)



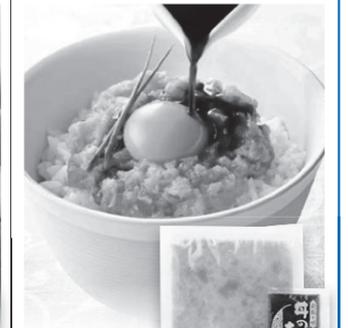
あさみや
鈴鹿山麓の近江天然水
2ℓ×6 通常価格
本体 398円
(税込430円)

ふわっと軽さのある食感のチーズスフレです。食べやすいように8つにカットしました。



スイーツ・スイーツ
チーズケーキ 通常価格
8カット 本体 398円
152g (税込430円)

本まぐろを使用したたたき身、本まぐろの味を味わえる粗挽きタイプです。



マルハニチロ
リテールサービス
本まぐろのたたき身
(并用、タレ付)
たたき身50g×2、通常価格
タレ15g×2 本体 598円
(税込646円)

えだまめ40%配合。絶妙な塩加減を実現。生協用に量を変更しました。



日本水産
えだまめ天
70g

シャキシャキとした歯ごたえのれんこんちぎり。食べ切りサイズにしました。



スギヨ
れんこんちぎり
60g

国産野菜のキャベツ、玉ねぎ、にんじん、ごぼう入り。生協用に量を変更しました。



スギヨ
野菜ちぎり
70g

国産のキャベツ・玉ねぎ・にんじん・ごぼうを配合。食べ切りサイズにしました。



カネテツデリカフーズ
国産野菜の
つまみ揚げ 70g

シャキッとしたごぼうを使用。甘辛い味付けです。食べ切りサイズにしました。



カネテツデリカフーズ
旨辛ごぼう
スティック 60g

いずれも 通常価格(各)本体 110円(税込119円) よりどり2点以上で(各)本体 98円(税込106円)

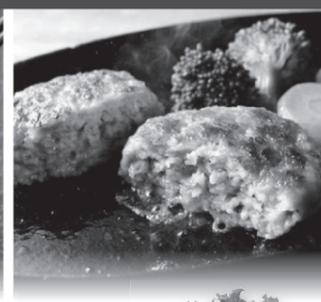


京都府産の「京丹波高原豚」を原料に使用した「きんきげんき」商品です。



甘辛だれでやわらかく煮込んだ豚バラ肉です。

京都フードバック
京丹波高原豚
バラ丸煮 通常価格
350g 本体 1,180円
(税込1,274円)



醤油やワインで風味付けした生ハンバーグ。

京都フードバック
京丹波高原豚
生ハンバーグ 通常価格
100g 本体 100円
(税込108円)



厚めにスライスしたチャーシュー。

京都フードバック
京丹波高原豚
厚切りバラ
チャーシュー 通常価格
250g 本体 880円
(税込950円)



ジューシーなカルビを塩だれに九条ネギを加えて漬込みました。

京都フードバック
京丹波高原豚
塩カルビ焼肉
(九条ネギ入り) 通常価格
200g 本体 498円
(税込538円)

代議員の発言要旨

6つの議案について、各会員生協での討議をふまえて7名の代議員より発言をいただきました。

「組合員の声に寄り添った事業を」

京都生活協同組合
代議員 川瀬 和栄さん



コープきんきは「組合員のふだんのくらしへのお役立ち度を高めること」を最優先に取り組み、品揃えやカタログ紙面の改革など、組合員ニーズにより身近な宅配になりました。C.O.P商品ブランド刷新の取り組みでは学習の場が広がり、コープきんき共同開発商品やオリジナル商品が数多く開発、改善されました。生協らしい良い商品であることを広く多くの組合員にアピールしてほしいです。環境配慮商品の調達・普及に期待します。商品の利用で社会貢献に参加できる寄付金付き商品など各生協での取り組みがコープきんきのまとまりでもっと広がる可能性があります。昨年6月より「ママ楽Del」ページがスタートし、幅広い世代に利用が広がりました。紙面での情報提供や利用しやすい価格設定、品揃えの充実などを要望します。

「本紙」「雑貨」「食品・上質」の3カタログがスタートしました。評価がある一方で、カタログ増への不満や食品と日用品の合冊への違和感の声もあります。広報を強め、便利さや買い物の楽しさを実感してもらおうことが大切です。eフレンスでは、個人別レコメンド機能が導入され「よく注文する商品が画面に表示されるのでうれしい」との声がある一方で、スマートフォンでのウェブカタログからの注文操作がしにくいとの声もあります。引き続き、操作性の改善をすすめてください。

組合員の一番の関心事である食の安全が徹底して守られることを要望します。食料品の廃棄問題など社会全体で考えるべきことについても、組合員自身が考えられるような発信をお願いします。今後も事業連合のメリットを活用し組合員の声に寄り添った事業の展開を期待します。

「ワンオペ、常駐コープの両立」

市民生活協同組合ならコープ
代議員 萬本 量美さん



ならコープはこの秋12年ぶりに新店をオープンします。商品の良さ、他店との違いを語る力を身につけたいと学うになりました。また、デパートに行かなくても手土産としてお菓子などをよく利用し重宝しているとの声もあります。商品企画も家族数の減少に合わせて少量を配置することですが、洗剤なども一人家族用を考えてください。水20Lで洗剤の量を量れるスプーンをつけてほしいです。一人暮らしの組合員にとって水30Lもの洗濯物にしようと思えばどれほど洗濯物をためなければいけないのか、これから一人暮らしが増えて行くと思われる社会に対応した商品開発をお願いします。

「人と人とのつながりが生協の魅力であり、強みです！」

大阪いずみ市民生活協同組合
代議員 上杉 真司さん



厳しい経済情勢や流通業界の競争の中で、宅配の品揃えの充実、商品カタログの改革などに取り組まれていることを高く評価します。ただ、社会が急激に変化し、ライフスタイルが多様化していく中で、生協の存在意義が問われているのではと不安に思わざるをえません。

そんな生協の未来を「人と人とのつながり」をキーワードに考えてみました。これからの消費社会について、三浦展氏が「第四の消費」つながりが生み出す社会へ」という本の中で、単に物を消費するのではなく、消費を通じて人とつながり合えるかに価値が置かれると書かれています。これは生協が今までやってきたことではないでしょうか。コープ商品や産直商品は、作り手とつながりその思いを知って利用しています。組合員は生協に様々な思いをぶつけてきます。生協は単に商品を買うところではなく、主体的に関わる場、つながり合える場です。生協がこのままでよいとは思いません。宅配の仕組みも価格訴求も含めて改革は必要です。ただ、この社会が求めているつながりがあることは生協の強みです。もっと人がつながることのできる商品やサービスを提供しその魅力をアピールしてほしいです。

生協の浅い組合員、特に若い層の定着率が良くないと聞きます。この層にこそ人とのつながりを求める新しい消費嗜好があります。ほしいものがないと言われるのは、商品サービス、情報が生協と自分たちをつなげるものになっていないからではないでしょうか。組合員歴が浅い方を対象に生協商品、産直商品について知ってもらい、生協の便利な使い方を組合員目線で伝えるイベントを開催しました。そのかけのテーマが「生協のつながりの魅力を体

習をすすめています。

子育て層の利用が少なくなっています。「ここにこほっぺ」やスマホで簡単に注文ができるeフレンスの利用をお知らせすることが必要です。子育ての合間に注文でき、重い商品を持ってきてもらえることが共同購入・個配の利点で、高齢者からも助かるとの声聞いています。利用登録拡大の取り組みとして、引き続きプレゼント企画や新規加入組合員への登録ポイント付与を希望します。

機能性表示食品や栄養補助食品、特定保健用食品は、紙面での適正な表示・表現とともに、その学習ができることを期待します。

紙面再編では、食品と日用消耗品が合冊され、なら独自の商品が別冊になり、新たに「よりすぐり」ができました。地産地消の商品や地元の商品のコープの商品をより多くの組合員が知り、利用につながればと期待します。

カタログに関して、すみずみまで見るのが楽しみとの声と、多すぎて見るのが大変との声を聞きます。選択型配布で両方のニーズに応えることができます。支所職員から紙面再編をしたことで商品が探せなくて利用点数が減っているとの声を聞きました。利用をやめてしまわれることを懸念します。コミュニケーションの中で情報が伝えられる関係をつくるのが課題です。コープきんきの7つの生協共通の食品・非食品・会員生協独自の特長ある商品があるよう、さらに見やすくわかりやすく選びやすいカタログとなることを期待します。

「コープきんき事業連合に期待すること」

大阪よどがわ市民生活協同組合
代議員 是永 安代さん



よどがわ市民生協では、配送効率改善のために新支所建設と配送コースの変更を行いました。配送曜日や時間帯変更、引き継ぎ不足などで組合員に迷惑をお掛けしました。再び信頼関係を築くためには、商品のおすすめなど配送担当者の積極的な声かけが重要で、商品知識や実感などを伝えられるように、配達担当者のための学習会や試食会の開催などの協力をお願いします。

感してもらおう」ことで、産地、メーカー、そして組合員同志でもつながる場しよう工夫しました。

組合員と職員のつながりは、班配送から個配へシフトする中で関係が遠くなりました。リアルなコミュニケーションに勝るものはありません。組合員の思いを直接くみ取り、商品企画や情報発信に活かしてほしいです。

コープきんきも事業連合というつながりです。各生協の個性は大切にしながら、つながりの素晴らしさを体現した組織となることを願います。

「コープきんきに期待すること」

わかやま市民生活協同組合
代議員 津田 美法さん



新たに上質サブ媒体「よりすぐり」カタログが3月4日から始まりました。「よりすぐり」は商品の魅力が最大限引き出される紙面となっています。特に表紙はスイーツならではの色やつや、食感までが伝わるような、食べてみたいと思える紙面となっています。ただ会員独自カタログとどのような棲み分けがあるのかわかりづらいです。商品についても「よりすぐり」と本紙との線引きがはっきりしません。カタログの多さも問題視される中、今後の「よりすぐり」の在り方、方向性を示してほしいと思います。

忙しい生活の中、時間もお金も節約したいとのことで、例えば家庭用の食器が売れないのにワンプレート仕切り皿が売れ、お弁当のおかずも自然解凍の冷凍食品が売られています。ママ楽デリについても意見・要望が多数寄せられ、それらの声を生かした商品開発、品揃え強化が楽しみです。

ファミリー層対応について、4層利用分析をもとに商品構成や品揃えを改善することですが、ライフスタイルは年々多様化し、ふだんは個食、イベントは家族みんなです。そのようなことを考えると、年齢だけでなくもう一つ何か別の物差しを入れる必要があるのではないのでしょうか。また、商品が多いのでカタログを見るのに時間がかかります。見やすくわかりやすく選びやすい紙面に結びつきにくいように思います。注文の仕方に改良が必要かもしれませんし、減らす物は減らして統一感のある適正な商品構成、品揃えになればと思います。

来年4月の消費税増税は先送りになりましたが、人材確保の問題や生産者の減少もあり、これからも不安材料が

ネットスーパーや他社による宅配事業への参画が広がっています。改めて生協のメリットを強みに変える政策取り組みも必要だと思えます。3点取り組みをお願いします。

「週1回の宅配で計画的にくらしに役立てる」：週に一度の作り置きや大容量企画の活用レシビなどを紹介し、計画購入により予算も時間も節約できることをアピールします。

「安全安心の生協だからできる健康への意識」：組合員アンケートでの世代も関心が高いのはここ数年「健康」。いきいき日和にある減塩、低カロリー、低糖商品などは本誌でも掲載し、世代を問わず生協のカタログを見ると健康への意識が高まるようになると良いと思います。

「家に居ながら買える楽しさ」：「よりすぐり」カタログは、デパ地下の様なワクワク感があり、手の届く高級感が家に居ながら買えるのは楽しいです。

本誌に日用消耗品が合冊され便利になったと多くの組合員から期待もありますが、「よりすぐり」の後にリクエストページがあり見落とされているのが残念です。例えばお米が本誌と「よりすぐり」に掲載され、散らかっているとの声もあります。欲しい商品が探し易い工夫も必要かと思えます。さらにお役立ちができるよう紙面づくりに期待します。

eフレンスでは個人別レコメンド機能の導入により、おすすめ商品が表示され便利になりました。さらにアプリの使い勝手の向上などシステムの改善に期待します。

会員生協とともにコープきんきのまとまりの力でさらなる発展と新しいチャレンジに期待します。

「商品案内について」

生活協同組合おさかバルコープ
代議員 岩田 まり子さん



日用品の一部が食品の商品案内の中に入ることにより「雑貨を別のチラシでさがす手間が省けて便利になった」との声が多く聞かれる一方で、「食品の中に雑貨が入り、裏表紙がまた食品になることに違和感を持つ」との声もあります。「いつでも注文」はコスメ・ファッションの最終面になり探しにくくなりました。できれば食品案内の日用品のページに入れてほしいと思います。

「よりすぐり」はあまりにも高価な品揃えに毎日ハレの日ではない私たちのくらしにはそぐわない、そんな声が届いたのかお肉のところでは少しリーズナブルな値段の物も企画されはじめ、利用してみようかなとの声もちらほら聞かれるようになります。尽きません。こんな時こそコープきんきの強みであるまとまり力で乗り越えていきたいと思えます。

「一緒に考えましょ」

生活協同組合コープしが
代議員 北川 紀子さん



ぜひ店に続き、コープしが2号店のもりやま店も昨年11月26日にオープンすることができました。多くの支援に感謝します。コープきんきに参加することで大きな成果を生み出すことができました。16年度方針の「会員生協のニーズに積極的に対応する」この言葉に期待し力を合わせ、組合員の願いが売場で実現できる店舗をめざします。品質保証では「重点として農産品を設定する」とありますが品質が悪くならないためにも農産産地の適正農業規範(GAP)の推進が欠かせません。優良な共通産地の拡大をめざすともありますが、つながりが深くGAPを理解し推進している産直産地の育成と広がりに期待します。

T.P.P等の社会情勢や生産者の高齢化も危惧される中、コープしがの年度末懇談会では「国内産業が海外の安い食品につぶされ、日本の素晴らしさが消えていくようで苦しい。国産の品物の大切さを生協組合員として守っていきたい」との声がありました。国産の農畜産物が食べられない時代が来ては困ります。生活を守る上でも低価格の追求は大切ですが、将来にわたって私たちの食糧を守ることを一緒に考えていきませんか。

大手流通では画一的売場への消費者支持の低下などから生活提案型やライフスタイルに対応した商品開発が強化されているとの情勢認識ですが、生協の商品開発もトップN Bや量販店と同じ道を歩むのでしょうか。事業連合の力を發揮し、組合員の協力も進めながら「生協でしか買えない」「生協でしか扱えない」商品やサービスの開発を望みます。

食卓がくらしに与えている影響は大きいです。台所から聞こえる食材を切り煮る音、おかずの匂い、彩、五感で感じる、食べるたいせつが失われつつあるように思います。「食べることを大切に」「感謝の心」「家族の「つながり」や「思いやる心」が食卓を真ん中に育まれてきました。三方よしの「買い手よし」は欲しいものを提供することが全てではありません。組合員に、家族にくらしに役立つことでのあり方を視野にいれた商品開発の必要性を感じます。

2015年度事業報告(総会議案書より抜粋)

2015年度事業活動の概括

15年度、コープきんきは「組合員のふだんの暮らしへのお役立ち度を高めること」を最優先の価値観と位置づけました。消費増税や輸入原材料の高騰などによる物価の上昇で国民の負担が増加する中、組合員の暮らしへのお役立ちを高めるために、宅配事業の品揃えと商品案内カテゴリー紙面の改革をすすめました。第5次中期計画の初年度として、宅配・無店舗事業の総合力で成長性を確保するための諸課題に取り組みました。

- ① 宅配商品事業では、MD改革を深化させて商品力を高めることにより、供給高、世帯利用高、粗利益率、粗利益高は予算、前年実績を上回りました。
- ② 宅配非食品事業では、利用率、利用点数の引き上げに取り組みました。MD改革方針を策定、実践し、供給高は前年実績を上回りました。
- ③ インターネットを通じて利用拡大では、インターネット注文サイト「eフレんズ」登録者、eフレんズ受注の供給高は順調に伸長しました。第5次中期計画に掲げた拡張型宅配事業を開始し、特定ニーズに対応した「いきいき日和」「にこにこほっぺ」カタログを発行しました。
- ④ 3生協(コープしが、京都生協、ならコープ)店舗事業連帯では、新店や既存店舗の改装での役割を果たし、会員の生協の取り組みもあって一定の成果を出すことができました。
- ⑤ 品質保証では、新MDの即食商品の取り扱い拡大にともなう対応を強化して商品事故の防止に取り組みました。日本生協連の苦情対応システム共同基盤への移行準備をすすめました。
- ⑥ 新非食品物流センターの稼働により、コスト削減と個人別仕分けを実現しました。

2016年度事業計画(総会議案書より抜粋)

コープきんきの基本姿勢

- ・組合員のふだんの暮らしへのお役立ち度を高めることを最優先の価値観として事業活動を行います
- ・組合員の利用する立場からの視点を貫き、組合員のくらしの目線で事業を組み立てます
- ・事業を通して会員生協の発展と経営に貢献します

2016年度の最重要課題

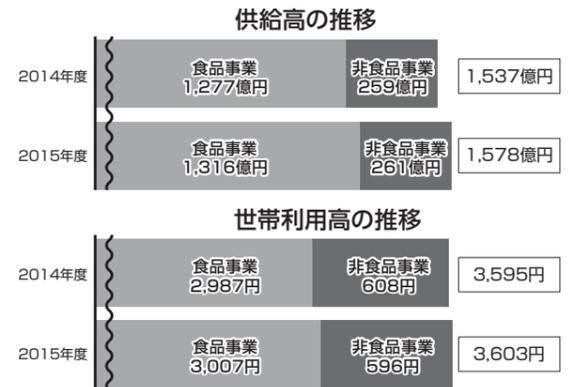
- ① 第5次中期計画の2年目にあたり、成長性確保のための宅配・無店舗事業の改革や店舗事業連帯の前進に積極的にチャレンジします。
- ② 組合員が利用しやすい「コア宅配」*事業の安定した成長をめざすとともに、「よりすぐり」などの多様なニーズに対応する新カタログをスタートさせます。
- ③ 会員生協とともに事業連帯メリットを拡大するためのあらゆる可能性を追求します。

*「コア宅配」：一律の商品案内カタログで注文し、週一回定曜日定時配達でお届けする現行の宅配。

2015年度宅配事業実績

コープきんき共通企画・会員生協実績

	2015年度実績		予算比	前年比
供給高	1,578億	48万円	100.2%	102.6%
粗利益高	432億	5,213万円	100.1%	102.6%
粗利益率	27.41%		99.9%	99.9%
世帯利用高	3,603円		100.6%	100.2%



2015年度 決算報告

貸借対照表

流動資産	280億 2,415万円	流動負債	262億 1,167万円
		固定負債	4,127万円
		[負債合計]	262億 5,294万円
		会員出資金	7億 2,600万円
		剰余金	19億 2,274万円
固定資産	8億 7,753万円	[純資産合計]	26億 4,874万円
資産合計	289億 169万円	負債・純資産合計	289億 169万円

剰余金処分

剰余金処分		(単位:円)	
I. 当期末処分剰余金		557,796,943	
II. 剰余金処分量			
1. 任意積立金			
(1) システム開発積立金	360,000,000		
(2) 別途積立金	100,000,000	460,000,000	
III. 次期繰越剰余金		97,796,943	

※次期繰越剰余金には、生協法第51条の4第4項に定められた教育事業等繰越金10,000千円を含んでいます。

損益計算書

	2015年度実績	予算比	前年比
供給高	1,384億 4,037万円	100.5%	101.8%
宅配食品事業	906億 9,144万円	100.9%	100.6%
宅配非食品事業	214億 6,210万円	97.5%	101.2%
店舗事業	130億 3,526万円	106.4%	124.3%
ギフト事業	34億 7,012万円	110.0%	150.3%
通販事業	97億 8,143万円	93.1%	94.8%
事業総剰余金	57億 2,768万円	99.1%	104.0%
人件費	13億 9,296万円	98.8%	101.9%
物件費	43億 3,420万円	99.9%	107.1%
経常剰余金	2億 4,812万円	95.4%	80.5%

※ギフト事業には拡張領域事業(「いきいき日和」「にこにこほっぺ」)を含んでいます。

主な方針

宅配事業

- ① 「コア宅配」事業は、調達と品揃え改革に取り組み、世帯利用高の引き上げをめざします。
- ② 見やすく、わかりやすく、選びやすい紙面(売場)づくりをめざします。
- ③ 商品案内カタログの改革をすすめます。
- ④ CO・OP商品の新しい枠組みにあわせて核となる商品への結集や、主体的な商品開発を強化します。

インターネット事業

- ① eフレんズ限定企画を強化し、登録者、利用人数を拡大します。
- ② スマートフォン向けの改修などeフレんズの注目のしやすさを追求し、くらしに役立つ情報を提供するアプリ開発をすすめます。
- ③ スマートフォン・タブレット端末を活用した事業拡大などについて研究します。

ギフト事業

既存の商品企画の見直しをすすめるとともに、企画実施時期以外にも注文できるグルメギフト・旬ギフトや、通年ギフト(慶弔対応など)をインターネット注文でスタートします。

店舗事業

- ① 各会員生協のニーズに積極的に対応します。
- ② 3生協(コープしが、京都生協、ならコープ)店舗

品質保証

事業連帯での成功事例を水平展開し450坪タイプ店のフォーマットを確立します。

日本生協連の苦情対応システム共同基盤「クイックプロ」との提携を強めるとともに、会員生協コールセンター情報の集約分析システムを導入して商品事故の未然防止に結びつけます。

物流・情報システム

家庭用品の利用点数増に対応するため物流事業計画を見直し、非食品物流センター(きんきDC)の安定稼働をすすめます。また、食品と家庭用品の同梱を解消するための対策を検討します。

2016年度収支予算

	2016年度予算	前年比
供給高	1,440億 8,942万円	104.0%
宅配食品事業	927億 4,661万円	102.2%
宅配家庭用品事業	234億 4,500万円	109.2%
店舗事業	137億 3,800万円	105.3%
ギフト事業	37億 5,593万円	108.2%
通販事業	104億 386万円	106.3%
事業総剰余金	60億 9,566万円	106.4%
人件費	13億 9,400万円	100.0%
物件費	46億 4,000万円	107.0%
経常剰余金	2億 6,000万円	104.7%

コープきんきでは、生協で取り扱う商品に対する「食の安心・安全」を求める組合員の信頼に応えるために商品検査を行っています。また、会員生協組合員から寄せられた声をもとに、くらしに役立つ商品にするために、「声の実現委員会」を開催して、検討を行っています。

商品の安全性確保や組合員の声を実現する取り組みについての活動報告として、「コープきんき品質保証レポート」を発行しています。16年度版を6月に発行しました。また、夏場に向けて食中毒予防チラシの発行や、商品案内カタログ上に品質保証の活動を掲載して会員生協組合員への情報発信をすすめています。



品質保証レポート

くわしくは、コープきんきホームページをご覧ください。

コープきんき品質保証レポート2016

検索

第1四半期事業報告(4月~6月)

<宅配事業 コープきんき企画分>

	実績	予算	予算比	前年実績	前年比
供給高 (千円)	38,967,772	40,189,188	97.0%	38,514,049	101.2%
粗利益高 (千円)	10,658,092	10,871,570	98.0%	10,474,259	101.8%
粗利益率 (%)	27.35	27.05	101.1%	27.20	100.6%
世帯利用高 (円)	3,584	3,678	97.4%	3,585	100.0%

<その他の事業>

	実績	予算	予算比	前年実績	前年比
店舗事業 (千円)	3,497,254	3,427,000	102.1%	3,032,892	115.3%
ギフト事業 (千円)	692,153	643,017	107.6%	516,603	134.0%
通販事業 (千円)	2,525,289	2,935,062	86.0%	2,706,379	93.3%

※ギフト事業には拡張領域事業が含まれています。

宅配事業の特徴

宅配事業(コープきんき企画分)の会員生協供給高は、389億6,777万円となり、予算比97.0%と予算に届きませんでした。前年比では利用人数の伸長により101.2%と伸長しました。世帯利用高は3,584円となり、予算比97.4% (予算差▲94円)となりました。前年比では100.0% (前年差▲1円)と維持しました。食品では、生鮮品の利用が伸び悩むなど世帯利用点数の低下傾向が続いており2,993円(予算差▲57円、前年差▲2円)となりました。家庭用品は591円(予算差▲36円、前年差+1円)となり前年実績を維持しましたが、食品カタログとの合冊効果を見込んだ予算には届きませんでした。

商品検査センターの検査結果報告



第1四半期の商品検査実施状況

検査区分	検査品目	基準外	
新規検査	微生物検査	839	15
	食品添加物検査	315	
	加工食品アレルギー検査	65	
流通品検査	CO・OP商品微生物検査	565	2
	NB商品微生物検査	1,738	53
事前検査	輸入加工食品残留農薬検査	24	
	農産物残留農薬検査	156	
	放射性物質検査	61	
合計		3,763	70

※商品検査の判定はコープきんきの自主基準にもとづいて行っています。基準外であっても商品の安全性に問題はありせん。新規取扱品検査において基準外になった商品は企画をとりやめています。流通取扱品検査において基準外になった商品は、原因調査と対策を確認しています。※放射性物質検査では、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも、検出限界を超えるものはありませんでした。(検出限界：一般食品 25Bq/kg、牛乳・水・茶 1Bq/kg)

制限使用添加物適用対象商品群を一部改定しました

次の商品群について、制限使用添加物を使用する必要性、有用性があり、市場の実態調査をふまえて限定的に使用を認めることにしました。

制限使用添加物	新たに適用する商品群
カラギナン	非加熱畜肉加工品 ジャム類、佃煮類

みんなで応援 熊本・大分

熊本・大分 応援企画に 取り組んでいます

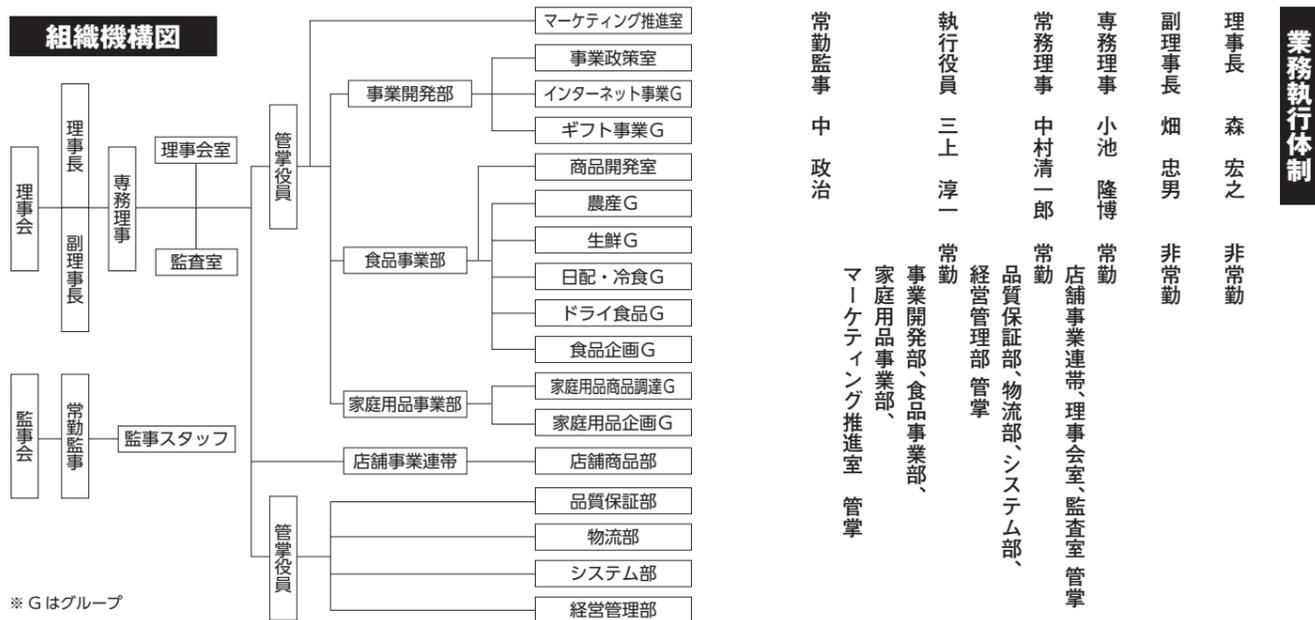
4月に発生した平成28年熊本地震により、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。コープきんきでは、5月から6月にかけて、被害を受けられたお取引先にお見舞い活動を実施しました。コープきんき職員、会員生協職員がお取引先11事業者に訪問しました。

コープきんきは、熊本・大分の地震被災地にあるお取引先の商品供給を促進することで、被災地経済の復興を応援しています。宅配事業では、より多くの組合員に利用いただくために、商品案内カタログ紙面に応援メッセージをつけ、該当商品の集合掲載などに加えて新規商品も順次拡大して利用を広がります。

また、3生協店舗事業連帯(コープしが、京都生協、ならコープ)の店舗でも、熊本復興支援企画を展開しています。



2016年度 コープきんき事業連合 業務執行体制と組織機構



コープきんき虹の会第8回通常総会

コープきんきのお取引先の会である、コープきんき虹の会(会員数551)は、7月20日(水)ホテルニューオータニ大阪において、第8回通常総会を開催しました。虹の会会員のお取引先477社771名と会員生協役員、コープきんき役員をあわせて869名が出席しました。

コープきんき虹の会会長 日本水産株式会社 細見典男代表取締役社長執行役員の開会挨拶の後、虹の会の2015年度事業報告と2016年度事業計画が承認され、今年度も虹の会の各部会を中心に会員相互の事業発展のための交流や研修会などを積極的に行うことが確認されました。

総会にはコープきんき事業連合の役員が来賓として出席し、代表として森宏之理事長が挨拶しました。また、小池隆博専務理事がコープきんき事業連合の現況について報告しました。

